

平成30年度 学校自己評価シート

認定こども園こどもむら 栗橋さくら幼稚園

| | |
|----------|---|
| 目指すこども園像 | <ul style="list-style-type: none"> こども達に未来を切り拓く能力を育むこども園 保育者も共に学び、成長していくこども園 地域と協働しながら、子ども子育て中心の街づくりを目指すこども園 |
|----------|---|

| | |
|------|---|
| 重点目標 | <ul style="list-style-type: none"> 認定こども園教育保育要領改訂に伴い、保育課程を見直し、未来を切り拓く力を育む。 保育に携わるすべての職員が学び合い、子ども達と共に成長する組織を目指す。 地域と協働し、安心・安全な子ども・子育ての環境を広げていく。 |
|------|---|

| 達成度 | |
|-----|------------|
| A | ほぼ達成（8割以上） |
| B | 概ね達成（6割以上） |
| C | 改善必要（4割以上） |
| D | 不十分（4割未満） |

| 学校自己評価 | | | | | | |
|--------|--|------------------|-------------------------------|-------------------------------------|---|--|
| 年度目標 | | | | | 年度評価（平成31年3月31日 現在） | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 次年度への課題と改善策 |
| 1 | 認定こども園教育保育要領改訂に伴い、保育課程を見直し、生きる力や未来を切り拓く力を再考して、指導計画につなげていく。保育環境の充実をはかる。 | 保育課程・保育計画の見直し | 保育課程の見直し、保育計画・日々の記録の見直し | 保育課程や保育計画、日々の記録を教育保育要領に基づき見直しを行ったか。 | 保育アドバイザーに増田まゆみ氏を就任いただき、計画、記録の見直しをはかった。 | A PDCAサイクルにより、改善点を確認し、より高い保育の質を目指す。 |
| | | 物的、人的保育環境の改善 | 人的環境の改善、保育室や園庭などの保育環境の見直し、改善 | 園庭、保育室、職員配置などの見直しを行ったか。 | 保育計画に基づいた環境図を作成し、環境改善をはかった。 | B 園庭環境が充実していないため、環境整備をはかる必要がある。 |
| 2 | 職員研修の充実と働き方の改善をはかる。保育教諭だけでなく、保育に携わる全職員が学び合える環境をつくる。 | 職員研修の充実 | 園内研修の充実（保育、特別支援、新人研修、人材育成） | 園内研修の充実を行ったか。 | 保育アドバイザーによる園内研修、マネジメント研修、キャリアアップ研修等多くの研修を行った。 | A 引き続き保育アドバイザー等による研修計画を充実させる。多様な家庭対応の研修も有給消化率は100%を維持すること。シフトを工夫してより働きやすい環境へ。 |
| | | 働き方の改善 | シフトの見直し、有給消化率の向上 | シフトの見直しを行い、有給休暇の消化率が上がったか。 | シフト等、働き方改革を行った。有給消化率は100%を記録した。 | A |
| 3 | 地域と連携しながら、在園児に関わらず、子どもを安心して子育てられる環境を目指す。子ども・子育て関係の情報発信や地域貢献を行う。 | 地域子育て支援の充実 | 一時預かり、園庭開放、子育て相談事業、子育てひろば等の拡充 | 各事業の利用者数等の向上が見られたか。 | 各事業とも利用者数は増加している。 | A 子育て相談に改善が必要。外国籍家庭等への支援が必要 |
| | | 地域連携、地域貢献事業の取り組み | 地域清掃、自治会連携、学習支援等 | 地域貢献事業の実施したか。 | 地域清掃、学習支援事業など未実施、夏まつり等自治会との連携は有 | C 貧困対策や学習支援が必要。自治会とも発展的な協働が必要。地域清掃等は実施するべき。 |

| 学校関係者評価 |
|-----------------------------------|
| 実施日：令和元年6月17日 |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 |
| 概ね良好。今後もより一層の努力を行ってほしい。 |
| 離職率の低下と保育教諭の確保がはかられていることは評価 |
| 地域との連携をより一層はかるべき。自治会と連携した事業計画も必要。 |